

函 農 水

令和 7 年(2025 年)1 月 24 日

経済建設常任委員会委員 各位

農林水産部長

参考資料の配付について

このことについて、令和 8 年 3 月 31 日をもちまして、函館市恵山ウニ種苗センターを廃止することとしましたので、下記の資料を別添のとおり配付いたします。

記

1 函館市恵山ウニ種苗センターの廃止について

(農林水産部水産課)

函館市恵山ウニ種苗センターの廃止について

1 経過

前浜の環境変化によりウニ資源の減少が進んできたことから、ウニ資源の増大を目指し、旧恵山町が「恵山ウニ種苗センター」を平成元年度に建設し、平成2年4月1日から供用を開始した。

供用開始後は、えさん漁業協同組合管内（日浦地区から樺法華地区）の放流用ウニ種苗を生産し、地域のウニ資源の増大に貢献してきたところであるが、開設から35年経過し、施設の老朽化が著しく、また、近年の海水温上昇等により貝類等の付着生物の増加により、取水管の閉塞やポンプ類の破損が頻発し、取水性能が著しく低下するなど、現行の生産体制の維持が困難となっている。

2 施設概要

(1) 所在地 函館市古武井町341番地1（山背泊漁港内）

(2) 施設規模

設備等 : 育成棟・ポンプ室棟

ろ過器 $85 \text{ m}^3/\text{h} \times 1$ 基 $60 \text{ m}^3/\text{h} \times 1$ 基

培養水槽 屋内用 $6.0\text{t} \times 5$ 槽 屋外用 $7.5\text{t} \times 30$ 槽

最大能力 エゾバフンウニ 300万個／年 (5mm種苗)

生産数 : 令和7年度生産予定数量

エゾバフンウニ 90万個

キタムラサキウニ 100万個

供給先 : えさん漁業協同組合管内（日浦～樺法華地区）

(3) 運営体制 えさん漁業協同組合へ委託（生産供給業務委託）

(4) 委託金額

令和7年度予算額 9,172千円

令和6年度決算額 8,598千円

令和5年度決算額 8,358千円

3 廃止理由

(1) 当該施設は老朽化が深刻な状況にあり、特にろ過器においては、ろ過器脚部の腐食により倒壊の恐れがあるほか、ろ過器内部のライニング剥離により、ろ材交換ができない状況となっている。（直近のろ材交換は令和2年に実施、ろ材交換の目安は概ね3年程度とされている。また、同規模の施設に更新する場合には、多額の費用を要する。）

(2) 近年の海水温の上昇等の影響で、貝類等の付着物が増加したため、ポンプの破損や取水管の閉塞などが頻発し、取水性能が著しく低下するなど、現行の生産体制の維持が困難な状況となっている。

(3) 代替えとなる種苗の確保に目途がついたため。

4 今後の対応

- (1) 恵山ウニ種苗センターの機能については、戸井ウニ種苗センターに集約し、施設の処分方法等については、漁港管理者である北海道と協議をすることとしている。
- (2) えさん漁業協同組合が恵山ウニ種苗センターから購入していた放流用種苗については、キタムラサキウニは戸井ウニ種苗センターから、エゾバフンウニは上磯郡漁業協同組合所管の広域種苗生産施設（知内町）から生産可能な範囲で購入する。
なお、令和8年度については、エゾバフンウニのみ30万個購入予定。

5 廃止年月日

令和8年3月31日